

第2次雲南市情報化計画（案）に関するパブリック・コメント（意見募集）の結果について

雲南市では、平成28年3月に雲南市情報化計画（平成28年度～令和元年度）を策定し、行政情報化及び地域情報化に関する取り組みを進めてきました。

近年のICT革新により社会全体の利便性が向上しており、今後ますます加速することから雲南市の活性化や行政の効率化を図るうえでも、ICTの利活用が重要であり、第2次雲南市総合計画で掲げた基本理念の実現に向け、情報化施策の視点から「第2次雲南市情報化計画」を策定する準備を進めています。

つきましては、計画案を取りまとめましたので、下記のとおりパブリック・コメント（意見募集）を実施しました。

【意見募集期間】

令和2年2月28日（金）～令和2年3月27日（金）

【意見提出人数】

1人

【意見提出件数】

1件

【お寄せいただいたご意見・ご提案と市の考え方】

提出されたご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方
このテーマについてはかねてからずっと思い入れがあり今回パブリックコメントを募集されることなので私自身の思いや考えを市に伝えるという意味でも意見を述べさせて頂きたい。NTT西日本の『フレッツ光』が雲南市内で初めて2012年に雲南市木次町で2013年に三刀屋町、大東町で2014年に加茂町で整備されましたが現在の時点で吉田町と掛合町が全く整備されていない状況にある。現在整備されていないところを列举すると 47局 大東下久野 48局 温泉 62局 掛合 64局 波多 74局 吉田 75局 田井 である。提供されている局番でも地域によっては整備されていないところもある。吉田町、掛合町について市長さんや部長さんがエリア拡大をしてもらおうとNTT西日本に要望を行ってほしい。そうすればもしかしたらエリア拡大し	ご意見ありがとうございます。 この度のご意見・ご提案により計画に記載している内容についての変更はいたしません。今後の事業展開の参考にさせていただきたいと考えます。 なお、ご意見等に対する個別事項の考えは以下のとおりです。 ①ケーブルテレビ ケーブルテレビ設備については、老朽化等により、令和2年度に掛合町の設計を行い、令和3年度に更新整備を行います。 更新にあたっては、光ファイバー化としております。 4K・8K放送の対応や高速インターネットが可能となることにより、情報通信格差は解消されていくと考えております。

てもらえるかもしれない。もし整備されれば一部の地域にはなるが整備されたという状況にはなる。自治体のトップが要望しないといくら個人がNTTにお願いをしても取り合ってもらえず無理であると思う。NTTが不採算地域でどうしても整備を拒むのなら市（自治体）が整備するしか最終的には他に解決する方法がない。4頁 第3章 雲南市における情報化の現状と課題 1. 雲南市における情報化の現状④についてはCATVを光化（HFCからFTTH）に更新するなら吉田町、掛合町からまず優先的かつ重点的に整備すべきである。そうすることにより過疎化対策にもなるしその地域が活性化する。私個人の見解であるが吉田町、掛合町にFTTH（光ケーブル敷設）を早期に整備することが地方創生だと考えている。情報通信基盤整備こそが地方創生の要になると思う。また整備されることによって雰囲気も明るくなるでしょう。ライフラインについて上下水道、電気、ガスがあるが情報通信分野についてもライフラインになりつつある。電気は強電、通信は弱電という概念があるからである。公共事業についても従来型の道路、建物も大変重要であると思うがソフト面においての情報通信基盤整備（光ケーブル敷設）も重要であると思っている。4頁 ①ケーブルテレビの伝送路についてですが4K8K時代の到来を見据えそれに対応した伝送路に更新、改修してほしい。現在雲南市内の各戸に音声告知放送システムが整備されているが防災部防災安全課が今度整備する280mhzデジタル同報無線システムの戸別受信機（防災ラジオ）が各戸に配布される予定であるとのことだがそれとの間の役割などでどのような違いがあるのか明確化すべきである。③携帯電話について 雲南市に5Gの基地局が沢山整備されるよう各キャリアに要請を行ってほしい。5G基地局を

②280MHz デジタル同報無線システム

音声告知放送については、これまでと同様に市役所からのお知らせなどの情報発信を行います。

また、デジタル同報無線については、災害情報に特化して情報提供を行います。

音声告知放送については、ケーブルテレビ伝送路を活用しており、災害時に伝送路が切断等により活用できないこともあるため、無線により情報発信手段の確保できるものと考えております。

③携帯電話

市内において不感地区が現在もあることから、携帯電話事業者に要望を行い不感地区解消に向けて取り組んでまいります。

④公衆無線 LAN（Wi-Fi）

ケーブルテレビの更新に併せて公共施設や観光施設等へ設置していく方向で検討しております。

⑤学校での ICT を活用した教育

セキュリティ環境の再構築を行い、国の構想に基づき1人1台環境整備、通信インフラ環境の整備の検討を進めてまいります。

⑥マイナンバーカード

国においても医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るため健康保険の一部を改正し、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるなどの方策を考えており、市としても今後普及啓発を進めてまいります。

⑦情報の受発信

情報の受発信については、現在もあらゆる媒体を活用しており、今後も各部局と連携を図り情

整備するには光ケーブルが必要とのことなので光ケーブルを敷設する上で負担金を国は考えているようだが市も市民に対して考えるべきだ。⑤公共施設、観光施設等への公衆無線 LAN (wi-fi) について現時点で未整備な施設は今後整備してほしい。5 頁⑧学校での ICT を活用した教育の推進 国の『G I G A スクール構想』に基づき 1 人 1 台 P C またはタブレットを配布すべきである。将来世代を支える子供たちへの投資である。1 0 頁②『安全・安心で快適な市民生活の実現』の CATV インターネットの最大の問題点として技術的なことになるが流合雑音の問題がある。CATV インターネットの上り速度が遅いのはそれが原因である。なのでその問題を解決しなければならない。あと CATV インターネットのヘッドエンド以降のバックボーン（上流回線）が非公開なのも問題点である。NTT のフレッツ光の場合 ISP と個別に契約するのでバックボーンは ISP なので分かる。OCN やヤフーなどがそれに当たる。5 頁⑧学校での ICT を活用した教育の推進について WEB フィルタリングが大変重要である。子供たちが成人向けサイトに誤ってアクセスし誤った知識を得られないようにすることが大変重要である。⑨テレワークについて 政府がコロナウイルスの感染蔓延対策としてテレワークを推進しているがこれをやるには光回線が必須である。4 頁 ③携帯電話について 10 地区 14 世帯が不感地区であると判定した。とあるが早期に解決されることを望む。5 頁⑥情報の受発信について今後新たなソーシャルメディアが誕生する可能性があるがもしそれが市の考え方や方針と合致するソーシャルメディアであれば積極的かつ前向きに活用を検討してほしい。⑦番号制度の導入に伴う手続きの簡素化のマイナンバーカードについてまず市職員が市民に先駆けて率先してカードを取得し普

報発信に努めてまいります。

⑧市ホームページ

ホームページの内容等については、各部局と連携を図り、見やすいホームページ作りに心がけます。

⑨データ放送、ケーブルテレビ自主放送番組 雲南市飯南町事務組合において、市民の方が委員となった番組審議会を設置しており、年 2 回同審議会を行い、委員の意見をいただき改善を図っております。

⑩オープンデータ化の促進

令和元年度から本格的に公開しており、順次各部局と連携を図りながら公開してまいります。旧町別、5 歳刻みの人口データについては、既に公開しております。

及してほしい。そうしたら市民が後から付いてくる。本人確認に運転免許証、健康保険証で十分であるという現状がある以上中々普及しないと思う。それをどう克服するのが重要である。6 頁積極的な情報の受発信について雲南市公式ホームページについて更新されていない箇所が散見されるのでしっかり更新してほしい。

5 公式アプリの開設 雲南市公式アプリのお悔やみや火災発生時に情報を取得ツールとして役立っている。政策企画部情報政策課は市民の生活に欠かせない大変重要な部署であると思うが市民の声をしっかり聞くためにもアンケートをしっかりとってほしい。アンケートは社会学の社会調査法という学問からしても大変重要であるからである。

11 公式ホームページの改修 高齢者（お年寄り）でも見やすいようにUIを随時改良してほしい。

7 頁 1 携帯電話鉄塔の建設について これからの時代5G基地局を沢山建設しないとイケなくなる。5Gの特性上電波の到達距離が短いからである。

2 音声告知端末の設置が100%に近づくよう市が率先して普及してほしい。

6 防災情報等の効果的な発信 マルチデバイス、マルチメディアで

9 ケーブルテレビ伝送路の更新（光ファイバー化）の検討結果、更新計画を立案したとあるがその資料をネット上ホームページ上で公開、公表してほしい。産業政策として製造業、情報通信産業、ソフトウェア産業の企業誘致という点からしてもFTTH整備は重要である。若者の雇用にも繋がると思う。

21頁②、③ 28頁⑨ 29頁⑨の結果としてテレビが多い。雲南市・飯南町事務組合のケーブルテレビのデータ放送がお悔やみの情報を得る手段として最も活用されているのでそこをより一層充実させたほうが良い。CATVをFTTHに変えることになった場合総務省の資料の図を見るとケーブルテレビの

光伝送装置（RF信号）はそのままで現在のHFC方式の光ノード、アンプ、タップオフを撤去し新たにクロージャ、V-ONUを設置しなければならない。それに伴うコストを市（自治体）が負担でき容認できるのかが最大の焦点となる。光サービスの契約に関しては昨今消費者問題にもなっているのでそこをどうクリアできるのかが重要である。4頁 ⑤ 公共施設、観光施設等への公衆無線LAN(Wi-Fi)について 各町の交流センターと加茂地域のラメール、かもてらす、ラソソテ 三刀屋地域の今度新しくなる永井隆記念館 コトリエット 整備してほしい。

7頁 3 データ放送の開始 今後も見やすいデータ放送にするため随時UIを高齢者でも見やすく分かりやすいものに改良してほしい。昨今、建設業でもi-Constructionが流行であるがそれをするためにもFTTHは不可欠である。

2ページ ケーブルテレビネットワークの光化(FTTH化)を進め、その強靱化・高度化を図る必要がある。 引用

正にその通りである。国土強靱化ならぬケーブルテレビ伝送路強靱化を行ってほしい。4 K8K映像伝送に対応できるレベル。

3ページ 中山間地域への光ファイバーケーブルの整備による高速インターネット網の拡充や、ケーブルテレビネットワークの光化によ

る4K・8K放送、そして超高速移動通信網である5Gへの対応が求められる。 引用

それこそが情報通信技術による(ソフト面における)地方創生である。

4頁 ケーブルテレビ伝送路設備は、どの町も敷設から16年以上経過しており、特に掛合町エリアは25年経過しているため、早期に更新をする必要がある。引用

1994年に掛合町有線テレビジョンが開設さ

れたとのことなので2019年時点で25年経過する。掛合町を優先的かつ重点的に整備を行う必要があると感じる。

4頁 民間通信事業者は、大東町・加茂町・木次町・三刀屋町の一部地域を提供エリアとし、1Gbpsの超高速インターネットサービスの利用が可能となり、市内で情報通信格差が生じている。引用

民間通信事業者が不採算地域と判断し整備を見送った地域については最終的に行政が対応せざるを得ない。

8頁 12 戸別受信機（防災ラジオ）により住民へ防災情報を伝達する。とあるが既存の告知放送システムとの違いを明確化してほしい。差別化など。

10頁 ② ケーブルテレビの伝送路設備等は古いエリアで25年を経過し、同軸アンプ（増幅器）の故障や同軸ケーブルの破断などによる障害が年々増加傾向にある。さらに現在使用している同軸アンプの製造終了に伴い機材の調達が困難な状況にある。このため、早期に光ケーブルに更新する必要がある。引用

FTTH化に伴いどうしても高額なコストがかかるようならFTTCにしてDOCSIS3.0,3.1規格でやるしかない。

38頁 市が進めるべき情報化政策として災害情報充実が最も多いことから見ても 防災・危機管理、災害対策の面からしてもCATV伝送路の強靱化が必須である。

26頁 ⑦ケーブルテレビ自主放送番組の満足度について どのような放送番組 コンテントを放送してほしいのかアンケートを取ったりニーズを把握する必要があると感じる。

7頁 12 オープンデータの活用の検討

15頁 4 オープンデータ化の促進
について他市では市内住所別（地域別）（年齢別）人口のデータ

を掲載しているところもあるので是非雲南市でもやって頂きたい。

最後になりますが、政策企画部情報政策課は市民に市の情報を伝達する意味においても市民の生活に欠かせない大変重要な課であるので今後もより一層頑張ってください。令和2年度から政策企画部情報政策課内に新設される『ICT戦略室』についても意気込みを感じ大変期待しています。